

万葉集をうたう

泊瀬朝倉宮御宇天皇代

天皇御製歌

高市齒本宮御宇天皇代

天皇登香具山望國之時

天皇遊徧内野之時中皇

歌并短歌

令和7年5月18日(日) 14:00~16:20

奈良公園バスターミナル 2階 レクチャーホール

(奈良市登大路町76、近鉄奈良駅より東へ徒歩約10分)

参加費:無料

定員:200名

事前申込み不要 当日会場にお越しください

内容：
(講演) 坂本信幸氏「柿本人麻呂の吉野讃歌」
(朗詠) 大小田さくら子氏「朗詠:万葉歌」
(歌唱) 吉桑道子氏 歌唱、菅原真理子氏 作曲・ピアノ「万葉歌」
(朗詠) 坂本信幸氏「犬養節による朗詠」

関連展示：「奥山永見古作 万葉カルタの原画展示」

イベントの開催を記念して、バスターミナル1階展示スペースにおいて、「万葉カルタ」の展示を行います。

会期:5月14日午後~18日(予定)

＜ご出演者プロフィール＞

坂本信幸

1947年高知県生まれ。2010年3月奈良女子大学を定年退職後、2023年3月まで高岡市万葉歴史館館長。現在、奈良女子大学名誉教授、高岡市万葉歴史館名誉館長、龍短歌会代表、万葉文化振興会会長。著書に『万葉歌解』（塙書房）ほか。

吉桑道子

奈良学芸大附属小中学校、京都堀川高校、東京藝大音楽科卒業。1998年NYハーレム・アピシニアン・バプテスト教会ゴスペルクワイアメンバー及びソリストとして、ハーレムに住む。各地でのコンサート、リンカーンセンターやカーネギーホール等で歌う。神話の世界から現代へと、愛する大和に捧げる「ことだまうた」を歌い続ける。

菅原真理子（作曲・ピアノ）

作曲家。昭和音楽大学・短大講師を経て付属音楽教室で後進の指導にもあたる。平城京遷都1300年祭で『古事記』や『万葉集』に基づく歌曲が吉桑氏によって初演されるなど、日本語の歌曲に関わりが深い。

太小田さくら子

朗誦家。文筆家。古事記原文の朗誦「やまとかたり」を各地寺社で奉納。朗誦、発声法、大和言葉の「やまとかたりの会」主宰。著書に『ゆずりは古事記』（大和郡山市）『やまとかたり 古事記をうたう』（新潮社）など。

奥山永見古

万葉創作画家・万葉作家。1991年カルチャー教室、学習教室開設、2013、2014年ドイツ ライプツィヒで個展&コラボ展、2015年奈良県立万葉文化館で個展、以後数々の個展、コラボ展に出展、2019～2024年まほろば円舞会なら100年会館公演「記紀万葉ダンスファンタジー」原作担当。2024年ベトナムダナン外国語大学で作品展開催など。

著書『万葉の夢』、『万葉絵合わせかるた』（奈良新聞出版）

奈良県の文化施設4館の連携イベントです、是非各館にも足をお運びください

※詳細やイベント等の参加のお申し込みは各施設にお問い合わせください。

奈良県立美術館

日本画や浮世絵などの日本美術を中心に約4600点所蔵
開催中 企画展「新・古美術鑑賞」



県立図書館情報館

蔵書数約80万冊が構築する知のネットワーク

「千田総館長公開講座 図書館劇場XX第3幕」

日程：9月28日（日）13時～16時

万葉文化館

『万葉集』を中心とした古代文化に関する総合文化拠点

館蔵品展「柿本人麻呂－万葉歌人から歌聖へ－」開催予定

日程：5月10日～6月29日



なら歴史芸術文化村

歴史、芸術、食と農など、文化に触れることができる
文化財修理作業現場を公開（月曜日休館）